

# 子ども支援フォーラムニュース No. 7 2011年9月発行

第7回チャイルドライン全国フォーラム in みえ  
子ども支援フォーラム ～子どもの声が地域・社会をかえる  
と き：2011年11月26日(土)・27日(日)  
と ころ：三重県総合文化センター(津市)

現地事務局：NPO法人チャイルドラインMIEネットワーク  
〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1 TEL&FAX 059-211-0024  
E-mail info@childlinemie.net http://www.childlinemie.net/



## シンポジウムの内容が決まりました!

### 【シンポジウム】

11月26日(土) 15:40 ~ 17:30

三重県総合文化センター 中ホール

#### 「内容」

#### 「子ども支援のネットワークへの挑戦」(三重県)

子ども支援のネットワークとは?

子どもにかかわる大人たちの

「子ども支援のネットワークづくりへの挑戦」、  
始まっています。

企業、NPO、行政、それぞれの立場から

子ども支援ネットワークづくりについて話し合います。

「子ども条例」がスタートした三重県からの提案です。

#### 【シンポジスト】

◇ 旭電気株式会社社長 前田光久さん(企業)

みえ次世代育成応援ネットワーク運営委員長

◇ チャイルドラインMIEネットワーク

代表理事 田部眞樹子さん(NPO)

◇ 三重県健康福祉部こども局

局長 太田栄子さん(行政)

《コーディネーター》

神戸学院大学法学部教授

佐々木光明さん



\*講演(10:00~12:00)  
 「とぎれのない子ども支援とは? ~行政とNPOの連携による子ども支援~」  
 講師 三重県中勢児童相談所 所長 鈴木 聡さん

\*グループディスカッション・発表(13:00~15:00)  
 「子どもの生きる力につながる子ども支援」

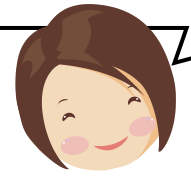
A:「子ども支援の重層化・システム化」という分科会を企画しているんだけど、  
 どういうことをいうのかしら。  
 私たちチャイルドラインとはどんな関係があるのかしら...

B: それって。「とぎれのない子ども支援」のことを言うんじゃない。  
 A: とぎれのない支援ってというのは、なあに?  
 B: 0才から18才までの子どもの色々な課題に、年齢や内容で途切れてしまわない支援をする仕組の事よ。しょうがい児の支援システムとして

よく言われるけど、すべての子どもの育ちが権利として保障されるために必要ね。

A: 支援ということで、一番大切なのは、何なのかしら?  
 B: 理念、つまり子どもをどう捉えているかの「子ども観」が一番重要ね。このフォーラムでは、子どもを権利主体として捉えることを提案しているのよ。  
 A: 支援って途切れなく繋がっていいのかしら?

うちの町ではどうだろうって疑問を持たれた皆さん、ぜひアンケートにお答えください。自分たちの市や町にどんな支援があるのか、チャイルドラインはその中でどんな支援を担っているのか? 自分の実施組織で、ネットワークの集まりでぜひ考えてみてください。



B: 年齢に応じてや分野別でもたくさんの支援があって、その中から選べるというのが大事なんじゃない。それに当事者にとって使いやすくないとね。  
 A: 子どもがわかって自分で使えるということも大事よね。  
 B: そうね。チャイルドラインも子どもが必要なとき、いつでもかけられるようになることが大事ね。  
 A: チャイルドラインの他の支援のことって、あまり知らないわ。  
 例えば、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では、子どもが生まれた家庭を全戸訪問するんだけど、その後の支援はどうなっているのかしら?  
 B: 行政(保健センター、子育て支援センター等)・NPO・企業、それぞれがいろんな考え方のもと支援活動をしているよね。  
 A: そうなのね。私たちの町にはどんな支援があるのかしら。調べてみましょう。  
 ...というわけで、アンケートを作ってみました。



◎「子ども支援の重層化・システム化」グループでは、それぞれのまちにはどんな支援があるのか調べています。是非このアンケートにご協力ください  
 【<http://www.childlinemie.net>】よりダウンロード可  
 ◎アンケートのまとめを参考にしグループディスカッションをします。



A子ちゃんが18歳になるまでの間に色々な課題が出てきます...それを解決するために、自分のまちにはどんな支援があるのかしら?



チャイルドラインはどういうところに位置しているのでしょうか? 「子ども支援フォーラム」で皆さんと考え合いたいなあ。

## 《子ども支援のネットワークづくりって?》

あなたの市町の「子ども支援のネットワーク」は、どんな「理念」「目的」「かたち」で作られていますか?

地域にはいろんな子どもネットワークがあります。そして、それぞれに目的や理念、かたちがあります。今回の子ども支援フォーラムでは、「子どもの主体」を大切にしたい子ども支援のネットワークとは何か?それが今どうして必要なのか?今かかえている課題は?など、皆さんと考える機会にしたいと思います。当日は5つのネットワークの目的、現状、課題、展望などの発表をもとに、子ども支援のネットワークづくりとは何か? つかみあう機会にしたいと思います。

今回の子ども支援フォーラムでは、「ネットワークづくり」がシンポジウムのテーマになっています。それだけネットワークが注目されているのはなぜでしょう。



町に子ども支援のネットワークってあるけど?

そもそもネットワークとは、行政・企業・NPOなど文化、社会的役割、活動内容や目的も違う組織が集まり、共通の目的を持って集まったり組織されたりします。それぞれの価値観や考えの違いから当然壁に当たること、話し合いが途切れることもあるでしょう。誰が声をかけ、ネットワークの代表やファシリテーター役になり進めるか、事務局をどこが持つかも大きな問題です。また、ネットワークに形も組織の数も決まりはありません。当然その成り立ちは様々ですし、完成もないのかもしれませんが。例えば、いくつかの組織で始まったネットワークが、目的を達成するために他のネットワークと連携することが必要になるかもしれません。必要になればもっと連携が広がるでしょう。そのとき重要なのはどんな理念のもとで集まるのか、そのことを共有ができていくかどうかだと思います。チャイルドラインが今、地域でネットワークをつくる時、どんな理念を持ち、どんな団体を組織する必要があるのか一緒に考え、つかみ合ひましょう。

チャイルドラインは、地域とどうつながっている?

集まりを持っているからネットワークOK?

ネットワークできると地域が変わるの?

### 午前：子ども支援のネットワーク事例発表 10:00 ~

- 行政発信の企業・NPOネットワーク (みえ次世代育成応援ネットワーク)  
「さまざまな働きかけを受け、賛同できることから一緒に取り組むネットワーク。仲間づくりの意味」
- 子どもに関わる多様な団体のネットワーク (津市子育て子育て支援会議)  
「“子育て支援”のまちづくり フラットな関係 現場でつかみ合う理念」
- チャイルドライン発信の子ども支援ネットワーク (子どもの心を受け止めるネットワークみえ)  
「行政・行政 行政・NPO NPO・NPOの協働 協定書 子どもにやさしいまちづくりをめざして」
- 事業をきっかけにしてつくったNPO発信のネットワーク (鈴鹿子ども支援ネットワーク)  
「これってネットワーク? 取り込みかも? 行政・民間が対等に子ども支援を考えたい!」
- 行政発信で子ども支援ネットワークを (玉城町子育て総合支援室)  
「途切れない子ども支援をめざして、行政間の連携をつくることから一歩前へ」  
(事例の題名は内容をつかんで頂くものです。タイトルではありません。)

### 午後：シンポジウム 13:00~ 午後のみ参加可

講師 土堤内昭雄さん  
 シンポジウム  
 「子ども支援のネットワークづくりとは」  
 コーディネーター 土堤内昭雄さん



## 皆様のご参加をお待ちしています!

あなたはどこに参加する？ 参加者タイプ別！！

2日目

## オススメのプログラムと分科会

### 【チャイルドライン関係者】

- ・受け手のAさんは… ⑥ or ⑩ or ⑫
- ・支え手のBさんは… ⑥ or ⑧ or ⑩
- ・運営者のCさんは… ⑦ or ⑨ or ⑫

### 【地域の子ども支援者として】

- ・ファミリーサポートの提供会員Dさんは… ⑧ or ⑩ or ⑫
  - ・主任児童委員のEさんは…
  - ・学童の指導員のFさんは…
- などなど ⑧ or ⑨ or ⑩ or ⑫

### 【行政関係者は】

⑧ or ⑨ or ⑫ or ⑬

### 【教育関係者は】

⑧ or ⑨ or ⑩ or ⑫

### 【企業の方は】

③ (シンポジウム) and ⑫

### 【子どもは】

- ・小学生のGさんは… ⑬
- ・中高生世代のHさんは… ⑪

## の分科会がオススメです！

分科会の内容は、ぜひ、ニュースNO.6の「分科会のご案内」を参考にしてください！

11月 27日 (日)	①【子ども支援の社会化】 10:00~12:00、13:00~15:00 子ども支援ワークショップ「ゆらぎを揺り・響きあうことの学び」 子どもの権利条約ネットワーク運営委員 安部芳純さん (早稲田大学非常勤講師)	150名	【文化】2F 第1ギャラリー
	②【子ども支援の社会化】 10:00~12:00、13:00~15:00 「組織強化と運営」~もし、チャイルドライン組織の運営者がP・F・ドラッカーの「マネジメント」を読んだら~ ※事前アンケートがあります。	50名	【文化】2F 第2ギャラリー
	③【子ども支援の量質化・システム化】 10:00~12:00、13:00~15:00 講演「とぎれのない子ども支援とは? ~行政とNPOの連携による子ども支援」 三重県中勢児童相談所 所長 鈴木聡さん グループディスカッション・発表「子どもの生きかたにつながる子ども支援」	50名	【文化】2F 大会議室
	④【子どもの権利条約づくり】 10:00~12:00、13:00~15:00 「子どもの権利条約を全ての作町で制定していくために」 子どもの権利条約ネットワーク副代表 荒牧重人さん (山梨学院大学法科大学院教授) NPO法人チャイルドラインMIEネットワーク代表理事 田部真樹子さん	50名	【文化】2F 中会議室
	⑤【子ども支援の質の向上】 10:00~12:00、13:00~15:00 講演「権利主体は子ども!?~支援者としてここははずせない~」 講師未定 事例発表 (子ども支援の現場から) グループディスカッション	50名	【フレンテ】3F セミナー室C
	⑥【子ども支援の質の向上】 10:00~12:00、13:00~15:00 子ども委員会「ホントの自由を手に入れよう」【対象:中学生・高校生世代】	20名	【フレンテ】2F セミナー室B
	⑦【子ども支援の総合化(ネットワーク)】 10:00~12:00、13:00~15:00 「子ども支援のネットワークづくりとは?」 実践報告 ①あえ次世代育成応援ネットワーク ②津市子育て子育て支援会議 ③子ども心を受け止めるネットワークあえ 他 シンポジウム ニッセイ基礎研究所 主任研究員 土境内昭雄さん	80名	【フレンテ】2F セミナー室A
	⑧【子ども条例ワークショップ】 10:00~12:00 (無料)【対象:小学生・中学生・高校生世代・大人】 三重県子ども条例ワークショップ ~ぼくたち・私たちの子ども条例~ (三重県企画)	50名	【フレンテ】1F 多目的ホール
	⑨【全体会】 15:15~16:00	600名	【文化】中ホール

### クイズ⑦

これまで①~⑥まで6回のクイズがありましたが、それぞれの答えの頭文字をひらがなで並べると何ということばができるでしょう？

「 ① ② ③ ④ ⑤ い 」

### クイズ⑥の答え「伊勢」

伊勢の神宮は正式名称を「神宮」といいますが、伊勢神宮・お伊勢さんとして幅広い年代の方に親しまれています。パワースポットとして特に有名なのは二つの正宮の内の一つ「内宮(ないくう)」ですが、穴場はもう片方の正宮「外宮(げくう)」。内宮より少し小さく、穏やかな空気が流れています。

本来は外宮→内宮の順に両方の正宮を参拝すること、ご存知でしたか？